

北海道胆振東部地震で発生したブラックアウトを考える ～今回の現象と社会的影響を踏まえ、その教訓をどう活かすか～

平成30年9月6日の北海道胆振東部地震に伴い発生した“北海道ブラックアウト”は、停電の社会的影響の広がりによるライフラインの重要性をあらためて浮き彫りにしました。本シンポジウムでは今回の事象を分かり易く概説するとともに、パネルディスカッションでは電力の供給者側、電気を使用される需要者側からの課題、対策等について議論を進めます。

日時：平成31年3月19日(火) 13時～16時

会場：北海道大学 学術交流会館 講堂(北海道札幌市北区北8西5)

参加費：無料(要事前登録)

主催：一般社団法人 電気学会 電力・エネルギー部門

協賛：一般社団法人 電気学会 北海道支部

プログラム

開場 12時30分

司会 蘆立 修一(電気学会電力・エネルギー副部門長)

13時 開会の挨拶 吉村 健司(電気学会電力・エネルギー部門長)

【第1部】13時10分～15時10分

地震発生メカニズムと被害状況

高橋 浩晃 氏(北海道大学地震火山観測センター 教授・センター長)

ブラックアウトの一連の事象について

野見山史敏 氏(電力広域的運営推進機関 企画部 マネージャー)

ブラックアウトを踏まえた今後の取組み

米岡 智 氏(北海道電力送配電カンパニー 工務部 部長(系統運用担当))

【第2部】15時10分～16時

パネルディスカッション

モデレータ 北 裕幸 氏(北海道大学大学院 情報科学研究科 研究科長 教授)

パネリスト 高橋 浩晃 氏(北海道大学 地震火山観測センター 教授・センター長)

野見山史敏 氏(電力広域的運営推進機関 企画部 マネージャー)

米岡 智 氏(北海道電力送配電カンパニー 工務部 部長(系統運用担当))

成瀬 隆是 氏(新日鐵住金 棒線事業部 室蘭製鐵所 設備部 エネルギー工場長)

申込方法：参加申込は電気学会ホームページより(http://www.iee.jp/?post_type=custom_event&p=20117)

締切：2019年3月14日 定員：275名

※定員になり次第締め切ります。定員に空きがある場合に限り当日参加可能です。

問い合わせ先：一般社団法人電気学会 電力・エネルギー部門事務局

e-mail : pes@iee.or.jp TEL : 03-3221-7313

